

調査団報告書

No.129 (2023.8)

調査内容

明治時代に、今の東区白壁に「愛知県植物園」があったそうです。どんな植物園だったのか知りたいです。

調査手順

明治時代の名古屋のことならまずは『名古屋市史』!と索引を引いてみましたが見つかりません。ならば県の施設だし県史でしょうか、と『愛知県史 通史編 10 年表・索引』を引くと、『通史編 6 近代I』の p.130 と p.766 に記述ありとのこと。見てみると、p.130 には「愛知県植物園で試植する外国種小麦・実綿・砂糖、…」p.766 には「愛知県植物園に養魚試験場を設け…」と。これって植物園というより、農業試験場?

調査結果

『愛知県園芸発達史』p.33 に、「当県における園芸作物に関する試験研究機関の最初は明治8年(1875年)に設置された愛知県栽培所である。(中略)同園は同11年(1878)1月植物園と改称され…」とあります。また『愛知県薬業史』p.99 には「この植物園の目的は、穀類、蔬菜、果樹などすべて有益と言われるものを試植し、民間の求めに応じようとするもので…」とあり、今私たちが想像するような植物園ではなく、農業試験場だったようです。

また『愛知県農業試験研究100年史』p.2 には「明治11年(1878)1月、栽培所の名を廃し、植物園と改称した。これは、栽培所が名古屋裁判所に近く、両者の音読みが類似し紛らわしいのを避けるためであった。」と改称の理由が書かれていました。

今回の調査で使った資料

『愛知県史 通史編 6 近代I』愛知県史編さん委員会／編集 愛知県 2017

『愛知県園芸発達史』愛知県園芸発達史編さん会／編 愛知県 1981

『愛知県薬業史』深谷義雄／著 名古屋薬業倶楽部 1965

『愛知県農業試験研究100年史』愛知県農業総合試験場／編集 愛知県農業総合試験場 1994

